

(6) 地球温暖化防止対策

現状と課題

私たちの社会経済活動は、自然界から化石燃料や農林水産資源を取り入れ、これらの使用と廃棄を繰り返すライフスタイルの上に成り立っています。

特に、化石燃料のエネルギー消費過程で生じる二酸化炭素（CO₂）などの温室効果ガスの排出は、地球温暖化の主な要因であり、その予想される影響の大きさや深刻さからみて、人類の生存に関わる最も重要な環境問題の一つとなっています。

今世紀に入って以降、地球温暖化が原因ではないかと考えられる局地的な豪雨や夏の猛暑などが発生し、動植物の生息・生育域が変化するなどの悪影響が現れており、最も厳しい温室効果ガス排出削減の努力をもってしても、地球温暖化による気候変動の影響は避けることができないといわれています。

このため、本市で暮らし活動する人々が積極的に環境負荷の少ないライフスタイルを選択していくよう促すことにより、エネルギー消費が最小限に抑えられ、温室効果ガスの排出が抑制された低炭素社会の実現を目指す必要があります。

基本目標

・地球温暖化の防止に向けた身近な取組を推進し、地球環境の保全に貢献します

指標項目	H30 年度実績値	R11 年度目標値
地球温暖化対策実行計画（事務事業編）に基づく二酸化炭素排出量	8, 386, 607 kg-CO ₂	↓（削減）

市の取組

- ① 「地球温暖化防止実行計画」に基づく取組を推進し、温室効果ガスの削減に向けた全庁的な取組を推進します。
- ② アイドリングストップや環境への負荷を少なくするような運転（エコドライブ）に取り組むとともに、公用自転車や公共交通機関を利用するなど、自動車の利用を自粛します。
- ③ 再生可能エネルギーの活用を推進し、省エネルギー型社会の実現を図り、二酸化炭素の発生抑制に努めます。
- ④ 森林の保全や緑化の推進を図り、二酸化炭素の吸収能力を高めます。

市民の取組

- ① アイドリングストップなど環境への負荷を少なくするような運転をすることで、できるだけ歩いたり、自転車や公共交通機関を利用するなど、自動車の利用を自粛します。
- ② 地球温暖化など地球環境問題に関心を持ち、日常生活においては、環境に負荷を与えない行動に心がけます。
- ③ 地球温暖化など地球環境問題の意識を高めるため、講演会や環境学習会などの環境に関する事業に積極的に参加します。

事業者の取組

- ① アイドリングストップなど環境への負荷を少なくするような運転を促進します。
- ② 事業所内での二酸化炭素排出抑制を掲げるなど、地球温暖化を考慮した取組を進めます。
- ③ 地球温暖化など地球環境問題にかかる従業員などの意識を高めるため、講演会や環境学習会などの環境に関する事業に積極的に協力します。

